一般社団法人　岐阜県臨床検査技師会
平成28年度　第4回常務理事会　議事録
開催日時：平成29年1月13日（金）18：30～
開催場所：岐臨技事務所
出席者：兼子、浅野、棚村、帖佐、佐藤、清水、高崎、乙訓、柴、高木
欠席者：柴
議長：兼子
議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。
たはら心臓血管クリニック（可児郡御嵩町）より求人依頼がありました。職務内容：心エコー検査の出来る方優遇。岐臨技HPの求人情報に掲載しました。
日臨技より資料の送付がありました。
内容は

1. 会費の送金について
   平成28年度会費　10,000円×2名＝20,000円
   平成28年度入会金　500円×1名＝500円
   送金合計額　20,500円
2. 平成28年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について
   平成28年度第2回岐臨技生物化学分析部門研修会　2016/11/27　32,500円
   平成28年度一般検査部門研修会「尿沈渣検査をもう一度考える」
   2016/10/23　37,000円
   平成28年　秋季拡大研修会　2016/11/13　50,000円
   岐臨技臨床生理部門（神経生理分野）研修会　2016/11/26　39,500円
   送金合計額　159,000円
3. 全国「検査と健康展」広報用頒布品（在庫品）の申請について
   対象頒布品は臨床検査のおしごと、クリアファイル、リーフレット11種（臨床検査一覧・尿検査・心電図検査・超音波検査・生化学検査・病理検査・細胞診検査・輸血検査①②・微生物検査・検体採取）
4. 平成29年度年会費の事務手続き等について
   平成29年度年会費は平成29年2月27日（月）に口座振替を行います。添付書類は「入会申込書」「会員移動届」「会員証再発行申請書」である。
5. 日臨技DVT検診マニュアル贈呈のご案内について
   東北・熊本支援で実動した会員の協力のもとに災害対策WGにて作成された日臨技DVT対策マニュアルが日臨技DVT検診マニュアルに取りまとめられました。10部ほど贈呈されました。

日臨技より郵便ありました。(2017/1/10)

「会員免除者の登録のご確認およびマスター管理への登録について」(依頼)

岐臨技は、新たな追加はありません。(高木理事)

兼子会長より日臨技中部圏支部幹事会についての報告があった。

開催日時は平成 28 年 12 月 9 日（金）、13 時～17 時。会場はホテル金沢（金沢駅前）で開催された。伝達事項としては、

1．支部研修会の運営マニュアルが平成 28 年 4 月より変更になった。今後はそのマニュアルにある方法で行うよう徹底すること。日臨技 HP より→会員専用ページ→最初のページ左下部の「運用ガイド」を使用してください。

2．テキスト広告料は製本費の 100%を超えない範囲で収入として良い。
総運営費は、自己資金過半の法則に従うこと。テキスト広告料も含めて企業からいただく資金は、総運営費の 50%以下とする。

3．ランチョンセミナーは開催可能。
趣意書を作成し複数の企業に送付し、広く募集しなくてはならない。企業の広告として行わなくてはならない。懇親会にはできない。

4．中部圏支部研修会を広報する。
参加者が少ない場合があるので、各県で広報が必要。岐臨技では、多重に広報を行っているが、県内の部門別研修会でも PR を行って欲しい。

5．日臨技助成金について。
・「標準化事業助成金」に変えて「日臨技精度管理結果サポート事業助成金」を新設。詳細は未定ながら、案として、宮島会長より日臨技精度管理で C・D 評価を受けた施設を集めて指導をする、などが上がっている模様。
・検査と健康展（50 万円）、生涯教育推進研修会（最大 5 万円×20 回）、委任状回収助成金は前年通り。
・新入会員に対する研修会（1 万円+500 円×出席者）、3 年未満の会員向け。他に 3～5 年の会員向け、宮島会長より宿泊研修会を開催してほしい模様（詳細不明）。
・検査説明・相談ができる講習会は開催終了。

6．検体採取等に関する講習会は平成 29 年までは前年並み開催継続
平成 30 年以降は開催減少の可能性大。
平成 29 年 7 月 8 日（土）・9 日（日）開催分は、岐臨技が実務を担当。
本常務理事会で棚村理事、高崎理事が実務を担当し講義をうけることになりました。
検体採取が実際に行われているか、実態調査が必要。
検体採取の実践講習会開催を模索中。案として採血、急変時の対応なども行う。

7．検査説明・相談ができる講習会に代わる研修会を模索中。
「薬理」「栄養」「看護」を学ぶという案がある模様。

実態調査を臨床検査総合部門で行う予定（詳細は未定）。実施拡大を図りたい。

8．全国検査と健康展は名古屋開催（11 月 11 日（土））。

各支部（6 支部）持ち回りで開催される。いずれ岐阜でも開催されるのでは。

9．中部圏支部医学検査学会について

平成 29 年度中部圏支部医学検査学会　9 月 30 日～10 月 1 日、名古屋国際会議場。

平成 30 年度中部圏支部医学検査学会　11 月 24～25 日、三重県総合文化センター。

平成 31 年度　岐阜県で開催。中濃地区が担当です。よろしくお願いいたします。

平成 29 年度中部圏支部医学検査学会のシンポジウムで新しく臨床検査技師を目指す学生とともに未来を考える臨床検査技師養成校への派遣について、岐阜の担当を頂き教員の方の要請がありましたので高崎理事にお願いしました。（兼子会長）

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

H29 年度春季拡大研修会打ち合わせ会議についての報告があった。開催日は平成 29 年 1 月 27 日（金）岐阜地区総会後。参加者は後藤 浩理事（揖斐厚生病院）、早川 恭江理事（長良医療センター）、林 博之理事（東海中央病院）内藤 斉さん（岐北厚生病院）、帖佐 光洋理事（岐阜大学病院）、高木 康雄理事（羽島市民病院）開催日時は平成 29 年 6 月 4 日（日）。会場は岐阜大学病院医学部記念会館 2 階ホールである。日程表の（案）は

9：00～　受付開始

9：30～　岐阜県臨床検査技師会　会長挨拶

9：40～10：40　研修会輸血　北川 順一先生

（岐阜大学附属病院　血液内科　輸血部臨床講師）司会者（　　）

10：50～11：50　研修会血液　笠原 千嗣先生

（岐阜市民病院　血液内科部長）　司会者（　　　）

12:00～13:00　ランチョンセミナー12　司会者

13：00～　市民公開講座　受付・入場開始

13：20～14：20　市民公開講座　講師　金森　寛充先生

（岐阜大学附属病院　第二内科臨床講師）司会者（　　　）

14：30～　　閉会・定時総会受付

～16：00　平成 28 年度定時総会

当日役割分担を決める。実行委員長 1 名・事務局 1 名・実務委員 4 名、当日スタッフ必要人数及び施設選考（例、岐阜大学病院 3 名・岐阜市民病院 1 名・羽島市民病院 1 名 etc）

研修会の司会者は各部門長に一度尋ねてください。（帖佐理事）

公開講座の司会者は岐阜地区理事でだれかやっていただければ良いとおもいます。（帖佐理事）

2 月 20 日事務所・定期便で発送予定のもの

1）「賛助会員宛に趣意書を発送する」広告掲載願い（目標 8 社）ランチョンセミナー講

演の依頼（2社）

２）「研修会講演」講師講演依頼書作成（講師用・施設長用）司会依頼書作成（司会者用・施設長用）

講師料の確認について。

本常務理事会で講師料を４万円とすることで承認を得た。

３）「市民公開講座」講師依頼書作成（講師用・施設長用）、司会者依頼書作成

講師料確認について。

本常務理事会で講師料を４万円とすることで承認を得た。

講師依頼書は講演の題名は外して発送いたします。

垂れ幕のサイズの確認」帖佐先生に連絡し会場の確認を2〜3月中に行いたい。

印刷会社（南進社）に連絡したら垂れ幕一本11,000円でした。

できれば2社以上で見積もりを出してください。（兼子会長）

春季拡大研修会「予算案」は収入が会費100名（100,000円）、協賛金、広告・ランチョン（150,000円）、日臨技助成金（50,000円）、収入計（300,000円）。支出が会場費（0円）、垂れ幕（55,000円）、資料集（150,000円）、消耗品、講師お茶代・文具（3,000円）、講師謝礼（120,000円）、交通費３名（2,000円）、弁当代（110,000円）、会議費日当・旅費交通費（50,000円）、振込手数料（540円）、支出計（490,540円）、収支額（－190,540円）である。（高木理事）

棚村部長より第55回岐阜県医学検査学会についての報告があった。

第55回岐阜県医学検査学会教育講演会 講演依頼についての説明があった。施設長宛と本人宛への講演依頼についての説明であった。冒頭は施設長宛が「大寒の候。ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、岐阜県臨床検査技師会は臨床検査技師を対象に、第５５回　岐阜県医学検査学会を下記要領にて開催することとなりました。つきましては、貴院の臨床検査科〇〇　〇〇先生にぜひ教育講演での講師をお願いしたく存じます。下記の日程で行なわれます学会にご派遣頂きますようお願い申し上げます。」本人宛が「大寒の候。ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、岐阜県臨床検査技師会は臨床検査技師を対象に、第５５回　岐阜県医学検査学会を下記要領にて開催することとなりました。つきましては、認定を取得され益々ご活躍の先生にぜひ教育講演での講師をお願いしたく存じます。ご多忙とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。」とする。

日時は平成29年3月12日（日）9：20〜16：00とします。

教育講演は座長を松井 明男先生（岐阜県立多治見病院）にお願いした。演者は病理・細胞診部門が川合 直樹先生（可児東濃病院）演題名「認定病理検査技師制度について（仮）」微生物部門が桂川 晃一先生（JA岐阜県厚生連 中濃厚生病院）血液部門は大垣市民病院

の杉山 直久先生より受けていただけました。演題登録は12例集まった。内容は「経管栄養患者における微量元素の投与量と血中濃度」佐藤 恵彦さん（医療法人香徳会 関中央病院）NST部門、「当院における共用基準値採用に向けての基礎的検討」伊藤 大樹さん（岐阜県立下呂温泉病院）臨床化学部門、座長は吉田 浩晃さん（中津川市民病院）。「カテーテルアブレーションが奏功した症候性心房細動患者の一例」岡田 浩司さん（大垣市民病院）生理部門、「大動脈四尖弁の一例」堂田　多恵子さん（高山赤十字病院）生理部門、座長は長屋 貴文さん（岐阜県立多治見病院）。

「当院ＩＣＴラウンドにおける細菌担当技師の取り組み」岡村 明彦さん（JA岐阜久美愛厚生病院）微生物部門、「プロテオミクス解析手法を用いた微生物迅速同定の基礎的検討」高崎 昭彦さん（岐阜医療科学大学）微生物部門、座長は秋山 美貴さん（中津川市民病院）。「Aerococcus　urinaeによる敗血症の一例」足立 大起さん（総合病院中津川市民病院）微生物部門、「Staphylococcus aureusのペニシリン感性率と、ペニシリナーゼ産生について」関谷 怜子さん（岐阜県立多治見病院）微生物部門、「当院の腹膜透析患者における腹膜炎原因菌についての検討」伊左次 真央さん（JA岐阜厚生連　東濃厚生病院）微生物部門、座長は堀部 充代さん（土岐市立総合病院）。「Gitter染色において分別条件が染色性に与える影響」井筒 萌香さん（大垣市民病院）病理部門、「尿沈渣の異型細胞精査検査について(仮題)」関 敏秀さん（JA岐阜厚生連　揖斐厚生病院）一般部門、「EBV初感染による伝染性単核球症及び急性肝炎に伴い出現したSmudge cellについて」加藤達拡さん（ＪＡ岐阜厚生連岐北厚生病院）血液部門、座長は吉村 晶昭さん（中津川市民病院）である。部門会議で松波総合病院の森本先生が輸血で発表していただけるとの連絡をいただき13演題になりました。座長は血液と輸血で棚村理事が担当します。

一般演題プログラムについては

臨床化学部門は【9：30～9：50】座長：吉田 浩晃さん（中津川市民病院）

1. 「経管栄養患者における微量元素の投与量と血中濃度」
   医療法人香徳会　関中央病院　佐藤 恵彦さん
2. 「当院における共用基準値採用に向けての基礎的検討」
   地方独立行政法人　岐阜県立下呂温泉病院　伊藤 大樹さん

生理部門は【9：55～10：15】座長：長屋 貴文さん（岐阜県立多治見病院）

3. 「カテーテルアブレーションが奏功した症候性心房細動患者の一例」
   大垣市民病院　岡田 浩司さん
4. 「大動脈四尖弁の一例」日本赤十字社　高山赤十字病院　堂田 多恵子さん

微生物部門は【10：20～10：40】座長：秋山 美貴さん（中津川市民病院）

5. 「当院ＩＣＴラウンドにおける細菌担当技師の取り組み」ＪＡ岐阜厚生連久美愛厚生病院　岡村 明彦さん
6. 「プロテオミクス解析手法を用いた微生物迅速同定の基礎的検討」岐阜医療科学大学　高崎 昭彦さん

教育講演は【10：50～11：50】座長：松井 明男さん（岐阜県立多治見病院）

（1）病理・細胞診部門

『〇〇〇〇〇〇』

ＪＣＨＯ　可児とうのう病院川合 直樹先生

（2）微生物部門

『〇〇〇〇〇〇』

ＪＡ岐阜厚生連　中濃厚生病院　桂川 晃一先生

（3）血液部門

『〇〇〇〇〇〇』

大垣市民病院　杉山 直久先生

ランチョンセミナーは【12：00～13：00】

〈1〉『新薬登場による肝炎治療の変化と新たなリスク』

富士レビオ株式会社　学術サービス部　福田 雅之助さん

〈2〉『〇〇〇〇〇〇〇〇〇』

シスメックス株式会社　〇〇事業部

市民公開講座は【13：20～14：20】座長：原 文明さん（国民健康保険　坂下病院）

『温泉学の最前線』　下呂発温泉博物館　名誉館長　古田 靖志先生

微生物部門②は【14：30～15：00】座長：堀部 充代さん（土岐市立総合病院）

7.「Aerococcus　urinae による敗血症の一例」総合病院　中津川市民病院　足立 大起さん

8.「Staphylococcus　aureus のペニシリン感性率と、ペニシリナーゼ産生について」
地方独立行政法人　岐阜県立多治見病院　関谷 怜子さん。

9.「当院の腹膜透析患者における腹膜炎原因菌についての検討」
JA 岐阜厚生連　東濃厚生病院　伊左次 真央さん

病理・細胞部門は【15：05～15：25】座長：吉村 晶昭さん（中津川市民病院）

10.「Gitter 染色において分別条件が染色性に与える影響」大垣市民病院 井筒 萌香さん

一般部門は【15：25～15：35】座長：吉村 晶昭さん（中津川市民病院）

11.「尿沈渣の異型細胞精査検査について（仮）」
JA 岐阜厚生連　揖斐厚生病院　関 敏秀さん

血液部門は【15：30～15：40】座長：棚村理事（多治見市民病院）

12.「EBV 初感染による伝染性単核球症及び急性肝炎に伴い出現した Smudge　cell について」JA 岐阜厚生連　岐北厚生病院　加藤 達拡さん

輸血部門は【15：40～15：50】座長：棚村理事（多治見市民病院）

13.　「当院の輸血検査自主運営へのとりくみ」
社会医療法人蘇西厚生会　松波総合病院　森本 剛史さん。

企画書（学会プログラム）については日時がH29年3月12日（日）9：20～15：50　受付開始は8：45～。会場はセラミックパークMINO｀国際会議場（最大収容人数　300人）岐阜県多治見市東町4-2-5　。参加予定人数は（100名）である。

学会日程（内容）は

8：45　受付開始

9：20　開会

9：30　一般演題　午前の部（1～6演題）※発表6分、質疑応答3分

10：50　教育講演　『〇〇〇〇〇〇』

1.病理・細胞診部門

ＪＣＨＯ　可児とうのう病院　川合直樹　先生

2.微生物部門

ＪＡ岐阜県厚生連　中濃厚生病院　桂川晃一　先生

3.血液部門

大垣市民病院　杉山 直久 先生

座長　岐阜県立多治見病院　松井　明男　先生

12：00　ランチョンセミナー1　『新薬登場による肝炎治療の変化と新たなリスク』

富士レビオ株式会社　学術サービス部　福田 雅之助さん

ランチョンセミナー2　『〇〇〇〇〇〇〇〇』

シスメックス株式会社　〇〇事業部

13：20　市民公開講座　『温泉学の最前線』

下呂発温泉博物館　名誉館長　古田 靖志 先生

座長　国民健康保険　坂下病院　原 文明さん

14：30　一般演題　午後の部（7～13演題）

15：45　閉会

16：00　東濃地区定時総会

当日運営委員は16名、岐阜県立多治見病院（３名）、中津川市民病院（２名）、多治見市民病院（２名）、JA東濃厚生病院（２名）、土岐市立総合病院（２名）、国保坂下病院（２名）、市立恵那病院（２名）岐阜県産業保健センター（１名）である。実行委員は学会長松井 明男さん（岐阜県立多治見病院）、実行委員長 美濃輪 縁理事（岐阜県立多治見病院）実行委員 可児 あかねさん（岐阜県立多治見病院）、久保田 仁志さん（多治見市民病院）、兼平 昌彦さん（土岐市立総合病院）、上村 まどかさん（土岐市立総合病院）、渡辺 常夫さん（JA東濃厚生病院）、武藤 延秋さん（JA東濃厚生病院）、伊藤 三穂さん（市立恵那病院）、林 佳菜美さん（市立恵那病院）、原 文明さん（国保坂下病院）、林 裕介さん（国保坂下病院）、梶川 裕司さん（中津川市民病院）、事務局 棚村 一彦理事（多治見市民病院）、市川 浩良理事（中津川市民病院）、柴 千春理事（岐阜県産業保

健センター）である。

予算案は収入が　参加費 1,000 円×100 名（100,000 円）、広告掲載代 10,000 円×8 社（80,000 円）、支出が会場費（70,000 円）（暖房設備含む）、印刷関連　（300,000 円）（横断 幕含む）講師料（外部が 1 人+交通費）（35,000 円）、（技師会員が 3 人+交通費）（5,000 円）である。

第 55 回岐阜県医学検査学会日程表は

8：45～　　　　受付開始

9：20～9：30　　第 55 回岐阜県医学検査学会

開会の辞（学会長）、開催挨拶（岐臨技会長）

9：30～10：40　　一般演題　（1～6）

10：50～11：50　教育講演　『〇〇〇〇〇〇』

1. 病理・細胞診部門　ＪＣＨＯ　可児とうのう病院　川合 直樹先生

2. 微生物部門　ＪＡ岐阜県厚生連　中濃厚生病院　桂川 晃一先生

3. 血液部門　大垣市民病院　杉山 直久 先生

座長　岐阜県立多治見病院　松井 明男先生

12：00～13：00　ランチョンセミナー

①　『新薬登場による肝炎治療の変化と新たなリスク』

富士レビオ株式会社　学術サービス部　福田 雅之助先生

②　『〇〇〇〇〇〇〇〇〇』

シスメックス株式会社　〇〇事業部

13：20～14：20　市民公開講座

『温泉学の最前線』

下呂発温泉博物館　名誉館長　　古田 靖志先生

座長　国民健康保険　坂下病院　原 文明さん

14：30～15：40　一般演題　午後の部（1～6 演題）

15：45～　　第 55 回岐阜県医学検査学会

閉会の挨拶（学会長）　閉会の辞（実行委員長）

生涯教育研修　　医学検査学会参加　（専門）20 点が認定されます。（棚村理事）

教育講演の講師料はどのようになっていますか。（兼子議長）

一人あたり 5,000 円+交通費となっています。（棚村理事）

公開講座講師（古田先生）の講師料は 30,000 円+交通費となっています。（棚村理事）

帖佐部長より学術部からの報告があった。

1. 新人サポート研修会について

高崎先生から 5 月 28 日に開催可能との返事があり、部門長に確認したところ特に異論はありませんでした。

2. 春季拡大研修会講師料については３名とも４万円でさきほど決定しました。

3. 岐阜県臨床検査技師会報について

   1月13日締め切りでの論文提出状況は岐大で３例、外部は０例の状況である。

   なにか症例掲載希望があれ連絡ください。(帖佐理事)

   冊子の内容確認の変更については役員・部門の名簿を載せてはどうでしょうか。(帖佐理事)

   学術のHpで名簿が掲載されていますのでよろしいと思います。(兼子議長)

4. 学術の計画案については

   支部研修会の報告を加えてください。(浅野理事)

5. 日本糖尿病療養指導士の単位に関する案内について報告があった。

   これまで岐臨技学会・研修会の案内文には糖尿病療養指導士の研修単位取得につきまして、『本研修会は「日本糖尿病療養指導士のための学会」として医療職研修＜第１群＞糖尿病療養指導研修単位0.5単位が認定されます』というような案内を記載し、事務所からの参加証明を行ってきましたが、糖尿病療養指導士だけを特別に扱うのは不自然とのご指摘があったこと、また各研究部門・岐臨技事務所の負担軽減のため、今後は案内文への糖尿病療養指導士単位の記載、並びに参加証明の発行は行わないことにします。悪しからずご了承ください。岐臨技の学会・研修会は、引き続き日本糖尿病療養指導士認定機構の研修単位取得の対象となります。お手数ですが各自で、単位数を把握し、日本臨床衛生検査技師会ホームページから参加証明を取得していただくようお願いいたします。(帖佐理事)

   日本糖尿病療養指導士の単位に関する案内は今後削除することで本常務理事会にて承認を得た。

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

平成29年１月29日（日）開催の精度管理報告会の案内は済んでいます。助成金の申請も終わっています。古田先生の確認も終わっています。講師料10,000円の承認も出来ています。閉会の挨拶は棚村理事にお願いしました。(佐藤部長)

高崎部長より広報部からの報告があった。

平成28年度会報誌の発行について、第４号は年頭のあいさつ、第５号は３月の県学会を予定しています。次号タイムスケジュールとして、投稿願いは２月１日（水）、原稿締め切は２月２８日（火）の予定。内容確認と校正は発行月の理事会日（３月１７日（金））、発送は３月２１日（火）を予定。平成２８年度第５号（３月）については

1. 県学会報告を棚村理事に写真入りでお願いしました。

   学会長の美濃輪理事に報告します。(棚村理事)

2. 各部門研修会について

生理部門が2月にありますので野久先生に連絡してください。（帖佐理事）

3. 各部門からの投稿記事について
   中部圏支部研修会の報告を病理部門で考えます。（浅野理事）
4. 施設紹介は岐阜地区を検討していましたが、今回は外します。

兼子議長より臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会についての報告があった。

鳥取で事前講習会が開催されますが、これに参加された技師は地区で伝達講習をしなければならない。認定を取得されている飛騨地区の佐々木理事と土岐総合の上村さんに伝えたところ、佐々木理事から参加していただけるとの報告がありました。以後岐臨技としてどのようにサポートしていけばよいのか。（兼子議長）

新たに新しい部門を作るべきか。各部門に当てはまらないものを検査総合で受けて頂くのはどうか。という意見もあったが専門的な知識を持つ経験者が必要であり、今後検討していきます。（兼子議長）

各部より平成29年度事業計画についての報告があった。

冒頭は兼子会長より説明があり前年度と同様に資料を作成いたしました。検査説明・相談ができる検査技師育成講習会事業は終了となりました。詳細は各部の報告を参照してください。（兼子議長）

帖佐学術部長より平成29年度事業計画の報告があった。

昨年度と同様な事業計画になりました。新人サポート研修会ですが従来ですと資料をダウンロードしていましたができれば冊子を作れないかと考えています。ランチョンやテキスト広告で印刷代がとれれば赤字が縮小できると考えています。（帖佐部長）

それでよろしいと思います。（兼子議長）

佐藤精度管理部長より平成29年度事業計画の報告があった。

昨年度と同様な内容となりますが、HbA1c は生血を使用したため昨年までの溶血による影響は回避できたが、健常者2名の検体のため、高値の検体も検討する。生理検査では呼吸機能が出ていないので検討していきたい。免疫の資料が高騰しているので検討したい。C・D評価の是正報告等の対処方法について検討したい。アルフレッサからの試薬購入ができないため早急に購入先を対応したい。日臨技には申請しています。（佐藤理事）

アルフレッサから購入予定のものが日臨技で購入可能か調べてください。（兼子議長）

ゆうパックによる検体郵送が困難になるため、配送会社を再検討する。日臨技からの臨床化学精度管理調査試料の販売が開始されたため、今年度から使用するが、試料が

若干高価になるため参加費用を検討する。（佐藤理事）

清水組織調査部長より平成29年度事業計画の報告があった。

日臨技の公益事業として「検査と健康展」を11月に予定します。本年度より各地区へ移行していく。平成29年は中濃地区で開催を予定したいのですが。（清水部長）

11月末頃に関の若草プラザでいきいきフェスタがあります。そこでの開催について交渉できました。（高崎理事）

市民の健康まつりは、やさか福祉健康まつり、高山市民健康まつり大垣市市民の健康ひろば、岐阜市健康まつりを予定している。HIV・STI予防に関する事業、各表彰該当者の選出も計画していきたい。（清水理事）

高崎広報宣伝部長より平成29年度事業計画の報告があった。

会報の発行を年６回以上計画している。内容は１号（６月）春季拡大研修会報告など、２号（８月）会長挨拶、理事紹介など、３号（１０月）全国学会報告、４号（１２月）秋季拡大研修会、検査と健康展、各イベント報告、５号（１月）会長挨拶など、６号（３月）県学会報告など。施設紹介、各部門からの研修会報告、御寄稿などは随時掲載予定。

会報作成スケジュール等は、投稿願い（発行月の前月１日より依頼）、原稿締め切り（発行月の前月末日）内容確認、校正（発行月の理事会日）、発送（発行月２０日）の予定です。（高崎理事）

ホームページの維持管理は（株）ディックナレッジテクノソリューション（担当：島田様）を通じて各種情報を掲載。３．ホームページ　バナー広告協力メーカーの契約管理、新規獲得。10月～次年度10月まで、36,000円/社　の年間計画で現在５社（SEKISUI、栄研、シスメックス、シーメンス、ラジオメーター）が契約しています。（高崎理事）

兼子議長より渉外部の平成29年度事業計画の報告があった。

平成29年度定時総会において、平成28年度決算が承認されたのち、速やかに公益目的支出計画実施報告書を電子申請にて行い、県医療整備課と連絡をとりながら、修正していく。平成２７年度、公益目的支出は予定どおりである。終了予定年度は平成３６年３月３１日。当該事業年度末日の公益目的財産残高は 10,921,543 円となっている。（兼子議長）

高木庶務部長より平成29年度事業計画の報告があった。

庶務部は岐臨技事務員との協力で業務を行っています。事業計画は研修会・連絡事項等の発送は月20日の定期便で行う。理事会・常務理事会の開催案内は月初めにメールにて発送。事務所使用管理。日臨技・各種団体・会員よりの問い合わせ等の対応。各種の書類管理。議事録作成は理事会終了後会長・副会長・監事にメールで確認していただき次

回理事会で署名捺印をいただき Hp に掲載しています。会費管理に関する事項の対応。定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。定時総会の取り仕切り。総会関連の議決権行使書の作成。マンション管理組合総会への出席。である。（高木理事）

乙訓会計部長より平成 29 年度事業計画の報告があった。

平成 28 年度中間決算について

1. 収支計算書について

予算額と中間決算額の比較です。ただし、中間決算額は 4 月 1 日から 9 月 30 日の 6 か月の実績ですが、予算額は 1 年度分です。したがって、中間決算額が予算額の半分程度であれば予算通りともいえますが、一部の科目は収益・費用が上期か下期に集中しています。

また、（1）経常収益の①入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益にしています。

予算との差額の大きい科目

（2）経常費用　①事業費の「事務員給与」の増加は事務作業の増大に、「講師等謝礼金」の増加は研究部門研修会に多くの外部講師を招聘したことによるものです。

2. 正味財産増減計算書について

当年度と前年度の中間決算額の比較です。

前年度と差額の大きい科目

（2）経常費用

「日当」「食卓費」「会場費」の増加は研修会を多数開催したことによるものです。

「ホームページ維持費」の減少は、前年度に支払ったサーバー移行費用が無くなったためです。

「消耗品費」の減少は、前年度まで支払っていたコピー機印刷代金が無くなったためです。

「試料代」の増加は、精度管理調査の項目を追加したことによるものです。

「製本費」の増加は、主に病理細胞部門の認定講習会テキスト分の増加によるものです。

「厚生年金保険料」は、当年度より発生した法定福利費です。

「給与手当」の増加は、収支計算書と同じ理由です。

３．貸借対照表・財産目録について

Ⅰ資産の部の「未収金」は精度管理参加費のうち、上期中に支払われなかったものです。

Ⅱ負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と健康展の助成金が上期中に入金があったものです。（乙訓理事）

平成 29 年度収支予算については

1. 平成 29 年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算表の見方

一番左は科目で、上から（１）が経常収益、（２）が経常費用、それぞれの一番下が合計額です。全体（枠内）の下から二番目が（１）から（２）を引いた経常増減額で△はマイナスです。

経常費用は「事業費」と「管理費」に分かれています。「管理費」は理事会・総会の費用など当会の運営上の費用で、他は「事業費」となります。

科目から右の「実施事業等会計」は公益目的事業に相当します。それ以外は「その他会計」です。事業名の下の数字がそれぞれの予算額です。

「法人会計」は管理費をまとめたものです。「法人会計」の右「合計」は平成 29 年度予算の合計額です。

枠外の右と下には平成 28 年度予算額と平成 29 年度予算額との差額を表示しています。

2. 前年度との差額の大きい科目（収支予算の右端の「差額」±100,000 円以上の説明）

（１）経常収益

「正会員会費」は、平成 28 年度分を参照し増額しました。

「精度管理参加費」は、試薬代金の値上がりが見込まれ、それに伴い参加費の値上げを予定しており、増額しました。

「広告料」は、「新人サポート研修会事業」でテキスト広告を募集する予定で、主にその分を増額しました。

「学会研修会助成金」は、「検査説明相談講習会事業」が開催終了となったため、主にその分を減額としました。

（２）経常費用

「事務員給与」は、事務作業の増大により増額しました。

「試料代」は「精度管理事業」の試料仕入先変更を予定しており、値上がりが見込まれるため増額しました。

「機器リース料」は、事務所のコピー機印刷代金が無くなるため減額しました。

「会場費」は「検査と健康展事業」の会場設営費を見直し、増額しました。

「厚生年金保険料」は前年度より法定福利費が発生し新設しました。

3. 前年度との差額の大きい事業（収支予算の下の「差額」±100,000 円以上の説明）

「学術事業」は、部門合同研修会開催を予定し増額しました。

「病理細胞部門事業」は、認定更新講習会開催を予定し、それに伴う「参加費収入」と「製本費」・「講師謝礼（講演料）」などを増額しました。

「新人サポート研修会事業」は、テキスト作成を予定し、それに伴う「テキスト広告費収入」と「製本費」を増額しました。

「検査説明相談講習会事業」は開催が終了しました。

「精度管理事業」は、試料の値上がりが見込まれ、それに伴う参加費の値上げを予

定しており、「精度管理参加費収入」と「試料代」を増額しました。
「広報事業」は、「ホームページ維持費」の減少を見込み減額しました。
「その他会計」の「共通事業」は、「正会員会費」増額を見込み、また、事務員の作業増大のため「事務員給与」と法定福利費「厚生年金保険料」を増額しました。

4. 平成 28 年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算摘要（別表）
収支予算表と同じ場所に、算出根拠を記載しました。（乙訓理事）

議長　兼子　徹　印

議事録署名人　浅野　敦　印

議事録署名人　棚村　一彦　印